

永年勤続者表彰式

令和元年度永年勤続者表彰式が昨年11月12日、上條記念館で執り行われ、勤続35年23名、勤続25年68名、勤続15年118名(計209名)に表彰状と記念品が贈呈された。式典後の懇親会では、同期との交流を深める様子が見られた。

35年表彰者(23名) ※敬称略

- 成島 道昭 昭和大学横浜市北部病院 医療教育支援室
- 恩地 由美 昭和大学附属烏山病院 検査室
- 永井 弘一 旗の台校舎 学事部学生課
- 阿久津直利 旗の台校舎 昭友商事(出向)
- 深尾 康弘 昭和大学藤が丘病院 医療課
- 佐藤 英彦 昭和大学横浜市北部病院 地域医療連携事務室
- 丸地 伸 旗の台校舎 人事部
- 内田 順子 医学部附属看護専門学校 学事看護専門学校事務課
- 畠山 守 昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査部
- 渡辺 美香 昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査部
- 荒川 春香 昭和大学病院 看護部
- 齊藤 治代 昭和大学横浜市北部病院 5階B病棟
- 小西 哲美 旗の台校舎 施設部施設課監視室
- 平井 康昭 富士吉田校舎 富士吉田教育部
- 水川 寿子 昭和大学江東豊洲病院 外来
- 成田 佳子 昭和大学附属烏山病院 C3病棟
- 佐藤 薫 昭和大学歯科病院 病棟
- 山口 富子 昭和大学附属烏山病院 B4病棟
- 新妻 晶 昭和大学藤が丘病院 リハビリテーション室
- 小西 悦子 昭和大学病院 10階病棟
- 倉口 秀美 旗の台校舎 学事部
- 黒田 純子 昭和大学藤が丘病院 図書室
- 小田原良子 昭和大学病院 患者相談窓口



勤続35年表彰者

25年表彰者(68名) ※敬称略

- 中村多鶴子 昭和大学藤が丘病院 透視センター
- 南 順子 昭和大学藤が丘病院 藤が丘内視鏡センター
- 大森 亨 医学部 内科学講座呼吸器アレルギー内科学部門
- 長塚 正晃 昭和大学横浜市北部病院 産婦人科
- 山なかおり 昭和大学病院 9階病棟
- 本田 浩一 昭和大学病院 腎臓内科
- 佐々木 純 昭和大学藤が丘病院救命救急センター 救命救急科
- 森山 浩志 医学部 解剖学講座内眼解剖学部門
- 大田 優子 昭和大学病院 患者相談窓口
- 長澤 敦子 昭和大学病院 血液内科
- 宮川 哲夫 保健医療学部 理学療法学科
- 渡辺 久愛 昭和大学病院 医療課
- 川原 愛美 昭和大学藤が丘病院 医療課
- 鈴木 圭吾 旗の台校舎 人事部給与厚生課
- 野山 貴則 昭和大学江東豊洲病院 臨床工学室(C.E)
- 大平 正司 旗の台校舎 施設部施設課監視室
- 山村 和正 旗の台校舎 施設部施設課監視室
- 松原こずえ 昭和大学藤が丘病院 歯科室
- 其原 久人 富士吉田校舎 富士吉田校舎学生教育環境設備整備・課外活動支援室
- 田口 智子 医学部 法医学講座
- 向後 麻里 薬学部 臨床薬学講座薬物治療学部門
- 渡辺 麻子 昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査部

- 沖山 清香 昭和大学江東豊洲病院 臨床病理検査部
- 伊藤 里歩 昭和大学藤が丘病院 臨床病理検査部
- 大野 聖子 昭和大学病院 生理検査室
- 井坂あずみ 昭和大学江東豊洲病院 放射線技術部
- 高田 中成 長津田校舎 学事部長津田校舎事務課
- 水江由紀子 昭和大学病院 整形外科外来
- 前田 由美 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 5階病棟
- 関 知恵子 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 リハビリテーション室
- 森 美都里 昭和大学藤が丘病院 内科外来
- 村上恵利子 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 5階病棟
- 松丸 悦子 昭和大学病院 医療課
- 大谷紀代美 昭和大学病院 6階病棟
- 路川 環 昭和大学病院 看護部
- 佐々木美代子 昭和大学病院 NICU(N4-1)
- 塩崎 伸江 昭和大学病院附属東病院 4階病棟
- 大瀬 利恵 昭和大学藤が丘病院 外科外来
- 寺島 敏晃 昭和大学藤が丘病院 臨床工学室(C.E)
- 田中 晶子 保健医療学部 看護学科
- 津島 健志 昭和大学藤が丘病院 薬剤部
- 小田中友紀 薬学部 基礎薬学講座生体分析化学部門
- 高橋千恵子 昭和大学江東豊洲病院 こどもセンター
- 遠藤 由布 昭和大学病院 褥瘡ケアセンター
- 新井 千恵 昭和大学横浜市北部病院 薬剤部

- 中島 潤也 昭和大学江東豊洲病院 放射線技術部
- 近藤恵美子 昭和大学藤が丘病院 看護部
- 山崎 芽美 昭和大学横浜市北部病院 外来
- 菅原真由美 昭和大学藤が丘病院 産婦人科病棟
- 坂戸 直美 昭和大学病院 看護部
- 鎌田理賀子 昭和大学藤が丘病院 7階西病棟
- 根本 友重 昭和大学病院 CCU
- 栗林 浩子 昭和大学横浜市北部病院 臨床病理検査部
- 石田 真紀 昭和大学病院 15階病棟
- 伊佐津克彦 歯学部 歯科保存学講座総合診療歯科学部門
- 泉 紀子 昭和大学藤が丘病院 看護部
- 矢吹 充広 昭和大学藤が丘病院 5階西病棟
- 天野 香里 昭和大学藤が丘病院 医療課
- 地頭所孝志 旗の台校舎 施設部施設課監視室
- 宮崎 浩子 薬学部 基礎薬学講座薬化学部門
- 村山 信子 薬学部 基礎医療薬学講座薬劑学部門
- 村山 松田 歯学部 口腔病態診断科学講座歯科放射線医学部門
- 中谷 信子 薬学部 社会健康薬学講座衛生薬学部門
- 岩崎 信雄 昭和大学病院 12階病棟
- 大友 美子 昭和大学歯科病院 手術室
- 川島真由美 昭和大学歯科病院 手術室
- 三溝 園子 昭和大学附属烏山病院 精神保健福祉室
- 前田 祐子 昭和大学附属烏山病院 C3病棟

医学堂書店

品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774

ご出張までメールのやり取りだけ!

飛行機の手配
ホテルの手配
公的研究費のお手続き
立て替え払い不要!
チケットのお届け

女性スタッフがきめ細やかに対応いたします。

昭友商事株式会社 3784-8280

産学連携基本契約を締結

歯髄幹細胞を用いた再生医療の事業化に向けて

昨年10月10日、本学と株式会社ジーンテックノサイエンスで歯髄幹細胞を用いた再生医療の事業化に向けた産学連携基本契約が締結された。

同契約は、本学が医系総合大学として保有する広い専門分野での高い研究力と、同社が再生医療事業の基盤としている歯髄幹細胞プラットフォームを組み合わせ、

協働のもと、骨関節疾患領域に留まらない包括的な研究活動および独自の新規再生医療研究の展開を目指している。

すでに9月10日には、石川統司助教が医学部整形外科学講座から「歯髄幹細胞を活用した骨関連疾患の治療法創出」について共同研究契約を締結しており、他の分野でも新たな臨床研究の準備

がんの高感度迅速診断技術を開発

本学とJSR株式会社による共同研究

伊藤寛晃准教授(医学部外科学講座消化器外科学部門(江東豊洲病院消化器センター)外科)らの研究グループはJSR株式会社との共同研究により、45秒で結果が得られる血液によるがんの高感度迅速診断の基礎技術を開発した。

本技術はラマン分光法※を応用したものであり、はじめに一般的な血液検査で

用いる血清の約10/20μlを使用し、特殊な形状の細径金属チューブの先端に液滴を作成する。その液滴に近赤外線レーザー光を3回照射し、3回の測定を平均値をラマン散乱光波長として記録することで、特定の複数の分子結合に由来する散乱光の強度に差があることを見いだした。

実験では、がんを含む悪

性疾患の既往がない計23名の血清を解析したところ、早期がんを含む胃がんまたは大腸がんの存在を感度85.7%、特異度86.7%と高精度に予測ができた。

(※ラマン分光法:物質に光を照射し光が反射する際、照射された波長の光のほか、個々の物質特有の波長の散乱光が含まれる現象を利用した非破壊成分分析法の一種である)

「昭和大学至誠塾」令和2年度塾生(12期生)の募集

昭和大学至誠塾は、本学の継続的な発展を期し、これを担う職員を育成するため、平成21年度に開塾しました。第1期から第9期塾生126名が既に修了しており、現在は第10期塾生18名、第11期塾生17名が大学運営に必要な知識等について就学学習しています。

令和2年度も引き続き、優れた人材を育成していくために、下記のとおり幅広く塾生を募集いたします。年齢制限はありませんので、積極的にご応募ください。

記

- ① 入塾定員: 10名程度
- ② 修業年限: 2年
- ③ 期間: 令和2年4月～令和4年3月
- ④ 開講日時: 原則として毎月、1年次は第1・第2・第3水曜日、2年次は第4水曜日とし午後6時から開講する。
- ⑤ 講義会場: 旗の台校舎 1号館
- ⑥ 応募資格: 本学の専任職員(所属部門・年齢を問わない) ※自薦・他薦を問わない。
- ⑦ スタッフ: 塾長(理事長)・副塾長(学長・総務担当理事・財務担当理事・事務局長)
- ⑧ 運営方式: スタッフ講師による講義及びワークショップ形式
- ⑨ 応募方法: 所定の応募用紙を学内専用ホームページ(お知らせページ)からダウンロードし、必要事項を記入のうえ、総務部企画課(旗の台校舎1号館1階)宛にご提出下さい。
- ⑩ 応募締切: 令和2年1月31日(金) ⑪ 選考: 塾生の採否は、大学が決定し通知します。
- ⑫ 問い合わせ先: 総務部企画課秘書室(担当: 松尾) 電話: 03-3784-8001

を進めると、同契約を機に歯髄幹細胞が持つ特性を十分に活かして治療法が確立される見込みがある。医療の開発を推進していく。

増やして解析アルゴリズムを最適化していくことで、さらに精度が向上することが予想される。

光を照射し光が反射する際、照射された波長の光のほか、個々の物質特有の波長の散乱光が含まれる現象を利用した非破壊成分分析法の一種である。